

令和6年度「社会実装プロジェクト」及び「社会実装教育フォーラム」に係るクラウドファンディングの成果について

社会実装教育とは、本校が中心となり全国の高専で実践されているプログラムで、イノベーションを実現できる技術者の育成を目指し、「①課題の把握、②提供する価値の考察、③社会に導入し、④評価を得る」ということを社会と繋がりながら繰り返し、自ら考え主体的に行動する力を付けるとともに社会と協創する重要性を体感する全く新しい教育プログラムです。本校では、この社会実装教育をカリキュラム（科目名「社会実装プロジェクトⅠ・Ⅱ・Ⅲ」）に導入し、毎年度本科4年・本科5年の全学生（約400名）がチーム単位で地域社会の課題解決に取り組んでいます。

また、平成24年度から毎年3月上旬に、社会実装教育で学生が取り組んだ成果をコンテスト形式で発表する場として「社会実装教育フォーラム」を開催しています。本フォーラムは、東京高専の学生だけでなく、全国の高専から多くの学生が参加する一大イベントです。単に研究発表の場としてだけでなく、教育的観点からそのプロセス（課題発掘からその解決に向けた取り組み全体）を評価され、専門家からの的確なアドバイスを受けることで、学生自身が成長する学びの場となっています。

本校では、令和6年度の社会実装プロジェクト及び社会実装教育フォーラムをご支援いただく目的でクラウドファンディング等を実施し、13名の方から合計405,000円のご支援をいただきました。ご支援いただいた寄附金は、これまで限られた予算で行っていた社会実装プロジェクトのチーム活動費（37,054円）、社会実装教育フォーラム開催経費（1,746円）及び社会実装教育フォーラム参加学生旅費支援（支援希望学生21名＝366,200円）に活用させていただきました。

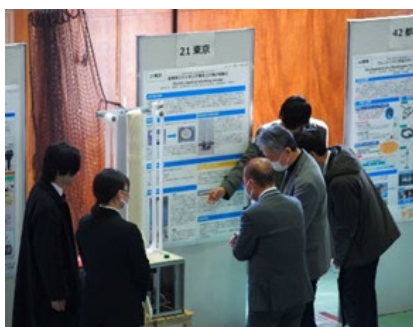
令和7年3月7日（金）・3月8日（土）に開催した社会実装教育フォーラムにおいては、旅費支援を希望する参加学生21名に対して支援を行うことで、学生の旅費負担を軽減することができました。あらためまして、今回のクラウドファンディングの趣旨にご賛同いただきましたことに、心よりお礼申し上げます。

社会実装教育フォーラムには企業関係者も多く来校されるなど、社会実装教育の取組が注目を集めています。本取組が今後より多くの受託研究や共同研究に発展することが期待されています。

■令和6年度社会実装教育フォーラム

- 開催日：令和7年3月7日（金）・3月8日（土）
- 会場：本校第一体育館
- 出場チーム：15高専 44チーム

○ 1日目（ファーストステージ）の様子



○ 2日目（ファイナルステージ）の様子



○ 審査結果

	賞名称	チーム名	タイトル
1	最優秀社会実装賞	05 阿南	小規模離島振興を考慮した災害初期対応支援システムの開発と実証
2	優秀社会実装賞	36 沖縄	水中ドローンとAIを使った沖縄に住むサンゴと魚の健康調査
3	社会実装構想賞	04 沖縄	災害発生時に命を繋ぐ！ ～アドホック通信機能付き防災ヘルメットの開発と実証実験～
4	社会実装構想賞	40 長野	モーションキャプチャ技術を用いた手話学習サポートシステムの開発
5	社会実装要素技術賞	23 沖縄	マイクロプラスチック問題に対する循環社会の実現に向けて ～海洋プラスチックゴミからの3Dフィラメント形成技術 及び子供向け玩具の製作～
6	社会実装社会実験賞	24 長野	小型水位計を用いた下水道への侵入水調査に関する研究
7	社会実装賞	02 都城	食品産業発酵残渣を利用した微細藻類の大量培養技術の開発
8	社会実装賞	39 東京	遠隔操作型除草作業ロボットの開発と鉄道沿線敷地における実証実験
9	三菱電機ロボット技術賞	39 東京	遠隔操作型除草作業ロボットの開発と鉄道沿線敷地における実証実験
10	安川電機賞	24 長野	小型水位計を用いた下水道への侵入水調査に関する研究
11	社会インフラ現場実装賞	24 長野	小型水位計を用いた下水道への侵入水調査に関する研究

※その他の賞については、社会実装教育フォーラムWebサイトをご覧ください。

[社会実装教育フォーラム](#) | [工業高等専門学校](#) | [独立行政法人 国立高等専門学校機構](#) [東京工業高等専門学校](#)

○ 最優秀社会実装賞のご紹介

受賞チーム：05阿南チーム

参加学生：阿瀬川 翔永

指導教員：吉田 晋

テーマ名：小規模離島振興を考慮した災害初期対応支援システムの開発と実証

概要：徳島県阿南市の小規模離島・伊島における災害対策及び観光案内の改善を目的としたICTシステムの開発。ICカードとアプリを活用したチェックシステムにより、島内にいる島民や観光客の人数を自治体リアルタイムで把握、トレッキングロードや避難場所に案内する地図アプリはオフライン環境でも利用可能にして、災害時の避難誘導、平時の観光支援を実現しました。



最優秀社会実装賞を表彰された阿南工業高等専門学校5年生 阿瀬川 翔永さん
左は 谷口 功理事長